

太陽光 風力 発電施設開発 儲け優先に歯止めなし!? 大規模 地域の環境・景観や住民生活まもれ

大平前衆院議員が現地調査・懇談

温暖化・地球規模の環境破壊にストップをかけるうえで、再生可能エネルギーの拡大は欠かせません。しかし、いま中国地方各地で「儲け優先」ともいえる大型発電施設開発がおこなわれ、日本共産党の大平よしのぶ前衆院議員が現地調査しました。

岩国市のメガソーラーを調査する大平氏ら



大平よしのぶ

前衆院議員（比例中国・名簿登録予定者）

5月19日には、岩国市美和町のメガソーラー建設地周辺を調査。元ゴルフ場用地の森林約110㍍を伐採、山肌がむき出しに…泥水が川に流れ込み稲作ができない被害も出ています。

太陽光発電は、国の環境アセス対象外。山口県は2019年6月から大規模開発を環境アセスの対象にしましたが、美和町のメガソーラー

は経過措置を「利用」して規制を逃れています。

「美和町の自然を守る会」の中村光信会長は「井戸水の枯渇も心配。FIT法による固定買取期間後はどうなるのか…。先祖からの農地を次世代に引き継ぎたい」と語っていました。

5月26日には、広島市湯来町、廿日市市吉和、安芸

太田町にまたがる2700㍍を対象区域に、高さ150mの風車を36基建てる国内最大級の風力発電予定地を調査(写真)。大規模風力は国の環境アセスの対象ですが低周波による人体被害や景観、生態系への影響などが各地で問題になっています。

日本共産党

おおひら・よしのぶ

【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期（文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員）、議席奪還を期す。現在、党中央委員。広島県府中町在住。家族は妻と一子。

共産党の提案

地球規模の環境破壊を止め
 自然と共生する経済社会をつくる



好評！オンライン企画

コロナ禍のなかで大平前衆院議員が、国政・時事問題をゲストとともに発信しているオンライン（ツイッターライブ）企画が好評です。

5月29日には、7月に

高裁判決を迎える「黒い雨」（写真）問題を取り上げ、24日には民青同盟が取り組んでいる「学生への食糧支援運動」交流会、6月6日には、赤嶺政賢衆院議員をゲストに迎え「土地利用規制法案」の問題点を浮き彫りにしました。

録画は大平ツイッター、事務所YouTubeチャンネルで視聴できます。

大平前議員が党の風吹かす 比例キャラバンで奮闘

大平氏は5月から6月にかけて、衆院の党予定候補がない選挙区を中心に、野党共闘の発展と比例での党躍進を訴える「比例キャラバン」を実施。街頭宣伝などで各地をめぐる日本共産党の風を吹かせています。

5月は鳥取2区、広島5区、広島4区、山口4区（写真）と回り、6月は、8日の鳥根1区、18～19日の岡山2区で実施。22



日に山口1区、23日に山口3区を巡ります。

制度解説

衆院 比例代表は「日本共産党」と 候補者名は無効です 政党名を書きます

大平喜信 前衆院議員
 いきいきニュース

2021年6月20日 No.27

発行 〒703-8288 岡山市中区赤坂本町1-31 日本共産党国会議員団中国ブロック事務所
 日本共産党の大平よしのぶ前衆院議員の活動と同党の見解を紹介します。